



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会

2014 年度 事業報告

人口減少化社会を迎えて10年を経過し、日本は数々の問題を抱えている。被災地の復興はもちろんのこと、格差の拡大とともに生み出された「貧困」や「孤立」はいよいよ深刻なものとなっている。特定のセクターや組織のみでは解決できない、多様な団体や人々が協働で解決に取り組まなければならない問題が山積み、あらゆる場面で「協働」という言葉を耳にする時代。あらためて、日本社会における「市民参加」や「コーディネーション機能」への期待を感じる1年となった。

そのようななかで、JVCAは7月には念願の「認定特定非営利活動法人」として認定され、税制上の優遇を活かしてより多くの支援者を獲得するツールを得ることができた。認定によって事業と組織の適正な運営と一層の公益性の増進につとめることが求められており、そのための体制の整備や改善を行った。

はじめにまず、2014年度の事業の重点についての成果を振り返る。

●重点1 ● 第3期中期ビジョン（2014－2018）をスタートさせる

2014年度通常総会で承認された「第3期中期ビジョン」にもとづき、中長期的な目標を見すえながら各種の事業を実施した。アクションプランに掲げた既存事業の本年度の取り組み目標についてはおおむね達成した。（ex. 講師派遣受託数 目標80件→実績81件、3級受験者数 目標年間500人→実績601人）

一方、グッドプラクティス事例の収集や分析、認定ボランティアコーディネーターシステムの開発などについては取り組みが進まず、次年度に向けての課題を残した。

●重点2 ● ボランティアコーディネーション力検定の受験者拡大を通じ、

ボランティアコーディネーションの社会への浸透を図る

ボランティアコーディネーション力検定合格者は2014年度末で3級2,451人となった。2級326人、1級46人という数字になっている。3級検定については共催が6回の予定をはるかに超えた12回の開催となり、とりわけ大学との共催検定が急増した。ここ数年定員割れをしていた2級検定では、2013年度の指定寄付を活用したU-30応援プログラムが始動したことで若い世代の2級受験が促進され、関西・関東開催ともに定員超えの申込みを得ることができた。

●重点3 ● 職務としてのボランティアコーディネーションの質を高めるために、

実務者向けの研修の充実を図る

中堅ボランティアコーディネーター向けの実践型研修については、2級検定合格者レベルを想定した「ボランティアプログラム開発」をテーマにした研修を東西で実施し、個人演習をとり入れた研修プログラムを試行した。

また、検定システム開発のために活動を休止していた研修開発委員会を再開し、実務者向けのボランティアコーディネーター研修体系化に向けた検討に着手した。

■ 1 事業の推進

(1) 全国ボランティアコーディネーター研究集会の開催

①「全国ボランティアコーディネーター研究集会 2014とちぎ」の開催及び評価

白鷗大学（栃木県小山市）の協力を得て、研究集会を開催した。

栃木県をはじめ関東圏のコーディネーター等によって編成した実行委員会においてプログラムを企画し、実施した。

テーマ：見なキャツ、聴かなキャツ、言わなキャツ！

～新たなる希望を生み出すボランティアの力（チカラ）

期 日：2014年 2月22日（土）～2月23日（日）

会 場：白鷗大学 東キャンパス

分科会：26分科会

参加者：206人

実行委員：34人

協力者：12人

運営ボランティア：39人

講師・事例報告者等：68人

（実行委員との重複有）



実行委員会開催状況

| 回 | 期 日 | 会 場 | 参加人数 |
|------|----------|-------------|------|
| 第11回 | 1月25日（土） | 白鷗大学 東キャンパス | 16人 |
| 第12回 | 3月29日（土） | 白鷗大学 東キャンパス | 22人 |

②「全国ボランティアコーディネーター研究集会 2015」（開催地：大阪府）の準備

大阪ボランティア協会の協力（事務局業務委託）により、大阪市内において全国ボランティアコーディネーター研究集会（JVCC）2015を開催することを決定した。

プログラムの企画・立案については関西圏のボランティアコーディネーション実践者で構成する実行委員会を設置した。第1回実行委員会では、本会理事である早瀬昇氏を実行委員長に選出した。

実行委員会開催状況

| 回 | 期 日 | 会 場 | 参加人数 |
|-------|------------|--------------------|------|
| 打ち合わせ | 4月13日(日) | 龍谷大学 大阪梅田キャンパス | 9人 |
| 準備会 | 5月25日(日) | 龍谷大学 大阪梅田キャンパス | 14人 |
| 第1回 | 6月7日(土) | 龍谷大学 大阪梅田キャンパス | 27人 |
| 第2回 | 6月29日(日) | 市民活動スクエア CANVAS 谷町 | 32人 |
| 第3回 | 7月21日(月・祝) | 龍谷大学 大阪梅田キャンパス | 43人 |
| 第4回 | 8月10日(日) | 市民活動スクエア CANVAS 谷町 | 26人 |
| 第5回 | 9月23日(火・祝) | 市民活動スクエア CANVAS 谷町 | 39人 |
| 第6回 | 10月18日(土) | 龍谷大学 大阪梅田キャンパス | 31人 |
| 第7回 | 11月15日(土) | 龍谷大学 大阪梅田キャンパス | 27人 |
| 要項発送 | 12月14日(日) | 市民活動スクエア CANVAS 谷町 | 18人 |
| 第8回 | | ドーンセンター | 28人 |

③JVCC のあり方や枠組みについて検討を行い、運営委員会（合宿）における審議事項として提案し、第3期中期ビジョンにも反映した。

⇒2. 組織運営のJVCC 企画委員会の項 参照

(2) 研修の開催および研修企画の支援

①ボランティアコーディネーションカ1級検定直前研修の開催 1回(神奈川)

②ボランティアコーディネーションカ2級検定直前研修の開催 2回・2カ所(神奈川・大阪)

③ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の開催

4回・6カ所(東京2回、大阪2回、福岡1回、福島1回)

④ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の共催 12回

⇒①～④は次の(3) 検定の項目で報告

⑤各種研修セミナーの開催

・実務者向け：ボランティアコーディネーター実務研修 (東京1回・大阪1回)

2級検定合格者レベルのボランティアコーディネーターを想定して、ボランティアプログラム開発の研修を開催した。

| タイトル | 期日・会場 | 講師 | 参加者 |
|--|-----------------------------------|-------|-----|
| ボランティアコーディネーター実務研修 「ボランティアプログラム開発」@東京会場 | 6月14日(土) ルーテル市ヶ谷センター | 小原 宗一 | 8人 |
| ボランティアコーディネーター実務研修 「ボランティアプログラム開発」@大阪会場 | 6月28日(土) 市民活動スクエア CANVAS 谷町 | 筒井のり子 | 11人 |

・実務者向け：ボランティアコーディネーター基礎研修（東京 1 回・大阪 1 回）

| タイトル | 期日・会場 | 講師 | 参加者 |
|---|---------------------------------|--|-----|
| ボランティアコーディネーター基礎研修 | 6月26日（木） ルーテル市ヶ谷 センター（東京） | 唐木理恵子 倉本 泰孝 後藤麻理子 | 52人 |
| 第40期ボランティアコーディネーター養成講座 ～新任ボランティアコーディネーター基礎研修～ 共催：大阪ボランティア協会 | 7月6日（日） CANVAS 谷町 （大阪） | 南 多恵子 岩本 裕子 岡村こず恵 荒木 澄美 牧 野 郁 川上 竜典 | 48人 |

・ボランティアコーディネーター向けファシリテーション講座（東京 1 回）

| タイトル | 期日・会場 | 講師 | 参加者 |
|--|------------------------------------|-------|-----|
| 本当の“原因”や“背景”に近づくための 〈対話〉を通じた問題解決ファシリテーション講座 「ボランティアの高齢化」 | 10月21日（火） TKP スター貸会議室 東京駅八重洲 | 加留部貴行 | 15人 |

・課題/テーマ型ボランティアコーディネーター研修（東京 1 回）

| タイトル | 期日・会場 | 講師 | 参加者 |
|--------------------------------------|------------------------------------|-------|-----|
| ボランティアコーディネーター実務研修 「リスクマネジメントを学ぶ」 | 11月21日（金） 東京ボランティア・ 市民活動センター | 後藤麻理子 | 11人 |



↑ ●東京会場 <ボランティアコーディネーター実務研修「ボランティアプログラム開発」 ●大阪会場 ↑

⑥研修への講師派遣

- ・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、JVC Aの理事・役員等を派遣した。

派遣 81件 研修日数 99日 / 派遣講師 13人（実数）

- ・講師派遣依頼先の開拓のために「講師派遣・紹介のご案内」を作成し、配布を開始した。

⑥東日本大震災・被災地の復興に向けた生活支援コーディネーターの養成と強化

- ・生活支援相談員等に対する研修企画・実施への協力

生活支援相談員等への研修にあたっては、企画および講師派遣へ協力した。

- ・生活支援相談員活動から見る避難住民生活の実態調査への協力

標記の調査の実施にあたっての調査設計および分析に協力した。

- ・福島への復興に向けた生活支援コーディネーターの強化と普遍化事業②（～3月）

『現地団体とタイアップしての“アウトリーチ型研修”の実施』

—災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）協力団体応援資金事業

福島県内の生活支援相談員等の生活支援コーディネーターの役割を果たすことが期待される人々への研修ニーズを把握し、組織やエリアに出向いて研修等を実施するとともに、日常的な個別のフォローアップを行った。

| 期日 | 会場 | 依頼者・対象 | 講師 |
|--------------|--------------|--|--------------------------|
| 1月22日 (水) | 田村市 船引公民館 | 田村市社協生活支援相談員／田村市復興応援隊／絆支援員／保健師／NPOスタッフ | 徳田 太郎 (日本ファシリテーション協会) |
| 3月14日 (金) | 浪江町社会福祉協議会 | 浪江町社会福祉協議会／二本松市社会福祉協議会（生活支援相談員） | 井岡 仁志 (高島市社協) |
| 3月14日 (金) | 福島介護専門学校 | ふくかいねっと（仮設住宅支援団体）のメンバー | 栗原 穂子 |
| 随時 | 郡山女子大学他 | 福島県内大学生（学生ネットワーク） | 栗原 穂子 |

- ・FUKUSHIMA×JVCA 分かち合いセミナーの開催

福島県社協および県内の諸団体と連携しながら進めてきた支援活動を振り返るとともに、福島の現状と今後の課題を検討するためのセミナーを開催した。※支援P事業の一環

日時 2014年 2月11日（火・祝）13:30～16:40

会場 飯田橋レイナービル（東京都新宿区） 1階 C会議室

内容 生活支援相談員の活動を通してふくしまの今を知り これからのを考える

1. 開催趣旨とJVCAの福島支援
2. 生活支援相談員の活動とその役割
3. 各地からの支援報告
4. ディスカッション



▼報告者兼パネリスト

| | | |
|-------------|---------------|---------|
| 浪江町社会福祉協議会 | 統括生活支援相談員 | 池崎 悟さん |
| 本宮市社会福祉協議会 | 主任生活支援相談員 | 根本 光洋さん |
| いわき市社会福祉協議会 | 生活支援相談員全体リーダー | 木村 仁子さん |
| 福島県社会福祉協議会 | 地域福祉課長補佐 | 渡邊 誠一さん |

▼コーディネーター

日本ボランティアコーディネーター協会 代表理事 筒井 のり子



参加者 53人

・避難住民を支えるサポートスタッフのための継続的なフォローアップ事業

(浪江町社会福祉協議会生活支援相談員への支援)

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」の助成を得て、標記の事業を4月より開始した。6月には年間の支援計画をもって浪江町社協との打ち合わせを行った。

福島支援スタッフとしては引き続き栗原穂子(運営委員)を委嘱し、継続的な巡回訪問により相談員に対するフォローアップを行った。

幅広いエリアに分散して避難生活を送る町民に対するサポートはチーム制で取り組まれており、お互いの状況把握や情報の共有は大きな課題であった。そのため定期的な「事例検討会」を開催することにより、他のチームが直面している困難ケースを共有するとともに、地域支援の視点からあらためて事例への対応を検証した。

・事例検討会の開催

| 期日 | 会場 | 対象 | 講師 |
|---------------|------------|---|---|
| 8月27日 (水) | 浪江町社会福祉協議会 | 浪江町社会福祉協議会/ 二本松市社会福祉協議会 (生活支援相談員) | 井岡 仁志 (高島市社協) ○アシスタント 栗原 穂子 後藤麻理子 |
| 11月13日 (木) | 浪江町社会福祉協議会 | 浪江町社会福祉協議会/ 二本松市社会福祉協議会 (生活支援相談員) | 井岡 仁志 (高島市社協) ○アシスタント 栗原 穂子 |

(3) ボランティアコーディネーション力検定の実施

①ボランティアコーディネーション力 1級検定の実施 1回

本年度第1回(通算第3回)ボランティアコーディネーション力1級検定の直前研修を開催するとともに、別日程で1級検定試験を東京と大阪の2会場で実施した。

| 開催地・会場 | 期日 | 講師 | 受験者 |
|---------------------|---|---|-----|
| <第1回> ウイング横浜 | 7月12日(土) ～7月13日(日) 1日目:直前研修 2日目:直前研修 | 筒井のり子、早瀬 昇、 岩井 俊宗、杉澤 経子、 妻鹿ふみ子、土屋 環、 小原 宗一 | 27人 |
| 【東京】 飯田橋セントラルプラザ | 8月3日(日) 試験 | | 13人 |
| 【大阪】 ドーンセンター | | | 12人 |

<第1回(通算第2回) 1級検定 試験結果>

| | | | | | |
|------|-----|------|-----|-----|-------|
| 受験者数 | 25人 | 合格者数 | 12人 | 合格率 | 48.0% |
|------|-----|------|-----|-----|-------|

②ボランティアコーディネーションカ 2 級検定試験の実施 2 回・2 カ所

9 月に大阪会場、11 月に神奈川会場で実施した。

| 開催地・会場 | 期 日 | 講 師 | 受験者 |
|--|--|---------------------------------|------|
| <第 1 回> 通算 9 回 大阪会場 大阪府立男女共同参画・ 青少年センター | 9 月 6 日 (土) ~9 月 7 日 (日) 直前研修 & 検定試験 | 竹田 純子 早瀬 昇 後藤麻理子 栗木 梨衣 | 34 人 |
| <第 2 回> 通算 10 回 神奈川会場 ウィリング横浜 | 11 月 23 日 (土) ~11 月 24 日 (日) 直前研修 & 検定試験 | 後藤麻理子 小原 宗一 足田 恵子 | 52 人 |

<第 1・2 回 2 級検定 試験結果>

| | 大阪 | 神奈川 | 合計 |
|------|-------|-------|-------|
| 受験者数 | 34 人 | 52 人 | 86 人 |
| 合格者数 | 17 人 | 31 人 | 48 人 |
| 合格率 | 50.0% | 59.6% | 55.8% |

③ボランティアコーディネーションカ 3 級検定の実施 主催 6 回／共催 12 回

特別開催 in 福島 (通算 15 回)

| 開催地・会場 | 期 日 | 講 師 | 受験者 |
|---------------------|--------------------------------|----------------|------|
| 福島会場 ビッグパレットふくしま | 2 月 13 日 (木) ・直前研修 ・検定試験 | 三田 響子 筒井のり子 | 62 人 |

<試験結果>

| | 福島 |
|------|-------|
| 受験者数 | 62 人 |
| 合格者数 | 49 人 |
| 合格率 | 79.0% |

<第 1 回検定の実施> (通算第 16 回)

| 開催地・会場 | 期 日 | 講 師 | 受験者 |
|--|-------------------------------|----------------|------|
| 東京会場 東京ボランティア・市民活動センター <研修共催： 同上 > | 6 月 8 日 (日) ・直前研修 ・検定試験 | 上田 英司 後藤麻理子 | 60 人 |

| | | | |
|---|--|----------------|-----|
| 大阪会場 大阪府立男女共同参画・青少年センター ＜研修共催：大阪ボランティア協会＞ | | 赤澤 清孝 加留部貴行 | 53人 |
|---|--|----------------|-----|

＜第2回検定の実施＞（通算第17回）

| 開催地・会場 | 期 日 | 講 師 | 受験者 |
|--|-----------------------------|----------------|-----|
| 福岡会場 大野城市総合福祉センター ＜協力：大野城市社会福祉協議会＞ | 10月18日（土） ・直前研修 ・検定試験 | 公文真理亜 加留部貴行 | 42人 |

＜第3回検定の実施＞（通算第18回）

| 開催地・会場 | 期 日 | 講 師 | 受験者 |
|--|----------------------------|----------------|-----|
| 東京会場 東京ボランティア・市民活動センター ＜研修共催： 同上 ＞ | 12月6日（土） ・直前研修 ・検定試験 | 阿南健太郎 三田 響子 | 65人 |
| 大阪会場 大阪府社会福祉会館 ＜研修共催：大阪ボランティア協会＞ | | 永井 美佳 竹田 純子 | 35人 |

| 試験結果 | 第1回 | | | 第2回 | 第3回 | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| | 東京 | 大阪 | 合計 | 福岡 | 東京 | 大阪 | 合計 |
| 会場 | | | | | | | |
| 受験者数 | 60人 | 53人 | 113人 | 42人 | 65人 | 35人 | 100人 |
| 合格者数 | 56人 | 49人 | 105人 | 41人 | 55人 | 35人 | 90人 |
| 合格率 | 93.3% | 92.5% | 92.9% | 97.6% | 84.6% | 100% | 90.0% |

＜共催検定（3級検定）＞

全国各地での開催を進めるために、ボランティアコーディネーションカ3級検定を他機関・団体と共催して行った。東京ボランティア・市民活動センターとの共催検定は、東京会場の主催検定と合体させた。計画は6回の予定だったが、全国から要望があり回数を増やし計12回の共催検定を実施した。

大学からの共催依頼が急増しており、また県レベルの福祉施設連絡協議会との共催は初である。

| 共催団体 | 期 日 | 講 師 | 受験者 |
|--------------------|----------|----------------|-----|
| ①前橋市社会福祉協議会 | 1月11日（土） | 加留部貴行 後藤麻理子 | 28人 |
| ②敬和学園大学 | 2月13日（木） | 加留部貴行 | 23人 |
| ③東京ボランティア・市民活動センター | 6月8日（日） | 上田 英司 後藤麻理子 | 36人 |
| ④静岡県社会福祉協議会 | 6月8日（日） | 唐木理恵子 | 40人 |
| ⑤長野県社会福祉協議会 | 7月20日（日） | 筒井 のり子 | 47人 |

| | | | |
|---------------|----------|----------------|-----|
| ⑥沖縄県社会福祉協議会 | 7月20日(日) | 唐木理恵子 | 31人 |
| ⑦名古屋学院大学 | 9月28日(日) | 上田 英司 | 37人 |
| ⑧白鷗大学 | 9月28日(日) | 唐木理恵子 | 38人 |
| ⑨龍谷大学 | 11月8日(土) | 早瀬 昇 筒井 のり子 | 48人 |
| ⑩東北学院大学 | 11月8日(土) | 三田 響子 | 27人 |
| ⑪関西学院大学 | 11月8日(土) | 加留部貴行 | 23人 |
| ⑫栃木県老人福祉施設協議会 | 12月6日(土) | 唐木理恵子 | 30人 |

<共催検定 試験結果>

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 受験者数 | 28人 | 23人 | 36人 | 40人 | 47人 | 31人 |
| 合格者数 | 25人 | 19人 | 35人 | 36人 | 36人 | 17人 |
| 合格率 | 89.3% | 82.6% | 97.2% | 90.0% | 76.6% | 54.8% |

| | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 受験者数 | 37人 | 38人 | 48人 | 27人 | 23人 | 30人 |
| 合格者数 | 17人 | 27人 | 42人 | 20人 | 20人 | 22人 |
| 合格率 | 45.9% | 71.1% | 87.5% | 74.1% | 87.0% | 73.3% |

④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

・ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 ◎委員長 ○副委員長 ☆各級チームリーダー

| No | 委員名 | 所 属 | 2014年度末現在 | 担当 |
|-----|-------|-------------------------|-----------|----|
| ◎☆1 | 妻鹿ふみ子 | 東海大学 | | 1級 |
| 2 | 小原 宗一 | 北区社会福祉協議会 | | 1級 |
| 3 | 杉澤 経子 | 東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター | | 1級 |
| 4 | 須藤美智子 | 環境パートナーシップ会議 | | 1級 |
| 5 | 後藤麻理子 | 日本ボランティアコーディネーター協会 | | 1級 |
| ○☆6 | 栗木 梨衣 | 愛知県国際交流協会 | | 2級 |
| 7 | 公文真理亜 | 北九州市社会福祉協議会 | | 2級 |
| 8 | 竹田 純子 | 龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター | | 2級 |
| 9 | 早瀬 昇 | 大阪ボランティア協会 | | 2級 |
| 10 | 赤澤 清孝 | ユースビジョン | | 2級 |
| ☆11 | 加留部貴行 | 九州大学 | | 3級 |
| 12 | 唐木理恵子 | 紬ワークス | | 3級 |
| 13 | 上田 英司 | N I C E | | 3級 |
| 14 | 足立 陽子 | | | 3級 |
| 15 | 三田 響子 | 相模原市社会福祉協議会 | | 3級 |

« 1 級検定チーム»

| 回 | 期 日 | 会 場 | 参加人数 |
|-------|--------------|-------------|------|
| 第 1 回 | 1 月 20 日 (月) | J V C A 事務所 | 5 人 |
| 第 2 回 | 4 月 15 日 (火) | J V C A 事務所 | 4 人 |
| 第 3 回 | 5 月 10 日 (土) | J V C A 事務所 | 4 人 |
| 第 4 回 | 6 月 3 日 (火) | J V C A 事務所 | 5 人 |
| 第 5 回 | 8 月 7 日 (木) | J V C A 事務所 | 3 人 |
| 第 6 回 | 8 月 11 日 (月) | J V C A 事務所 | 3 人 |

« 2 級検定チーム»

| 回 | 期 日 | 会 場 | 参加人数 |
|-------|--------------|----------------|------|
| 第 1 回 | 6 月 15 日 (日) | 龍谷大学 大阪梅田キャンパス | 3 人 |
| 第 2 回 | 6 月 29 日 (日) | CANVAS 谷町 | 3 人 |
| 第 3 回 | 8 月 2 日 (土) | 龍谷大学 大阪梅田キャンパス | 4 人 |
| 第 4 回 | 9 月 14 日 (土) | 龍谷大学 大阪梅田キャンパス | 3 人 |
| 第 5 回 | 12 月 7 日 (日) | 龍谷大学 大阪梅田キャンパス | 5 人 |

« 3 級検定チーム»

| 回 | 期 日 | 会 場 | 参加人数 |
|-------|---------------|-------------|------|
| 第 1 回 | 1 月 11 日 (土) | J V C A 事務所 | 4 人 |
| 第 2 回 | 4 月 2 日 (水) | J V C A 事務所 | 5 人 |
| 第 3 回 | 8 月 3 日 (日) | J V C A 事務所 | 4 人 |
| 第 4 回 | 10 月 5 日 (日) | J V C A 事務所 | 4 人 |
| 第 5 回 | 12 月 15 日 (月) | J V C A 事務所 | 4 人 |

⑤『ボランティアコーディネーションカ 1 級検定テキスト』の改訂

⇒1 級検定テキストを微修正して、編集、発行した。

⑥『ボランティアコーディネーションカ 2 級検定サブテキスト』の改訂

⇒2 級検定サブテキストを微修正して、編集した。

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

① メールマガジン (会員向け) の発行 (月 1 回)

めるまが Co☆Co☆Net 第 104 号～第 115 号の発信 (12 回)

② JVCA リーフレットの増刷 (3 つ折り) 3,000 部

③ ホームページの充実

団体に関わる基本情報、実施事業、等の更新、未更新情報を調査し、修正した。

④ 公式 facebook の開設と運営

10 月 19 日に公式 facebook を開設し、年度内に 1000 いいね！を越す反響があった。WEB 委員会もメンバーをはじめ運営委員や事務局が交代で発信した。

⑤ ボランティアコーディネーションカ検定 2 級、3 級合格者に情報提供するために、めるまがを作成し、個々人の登録アドレスに送付した。

⑥ 雑誌・新聞などへの寄稿 など

『つなげる仕組み考察～コーディネーターら集会』 2014年2月3日（下野新聞）

⑦ 個別相談への対応

・会員メーリングリストによる会員相互の相談助言活動の促進

悩み相談、意見発信、問題提起、情報交換など、会員メーリングリストに寄せられる相談を通して会員同士のコミュニケーションを促進した。

メーリングリスト利用件数 177件

・事務局(事務所)に入った電話、メール、FAX等での相談、問い合わせ、連絡などに対応した。

相談件数

| 内 容 | 件 数 |
|-----------------------|-------|
| ボランティアコーディネーションに関すること | 43 |
| ボランティア活動に関すること | 5 |
| 研修講師相談・依頼・手続き・調整 | 376 |
| 主催研修の日程／内容 | 119 |
| JVCCに関すること | 370 |
| 図書購入・照会 | 35 |
| 取 材 | 11 |
| 入会希望・問合せ | 14 |
| 会員種別変更・退会 | 57 |
| 会費納入 | 48 |
| 事業協力・後援依頼 | 11 |
| 関係(者)団体連絡先照会 | 2 |
| ボランティアコーディネーション力検定 | 680 |
| 震災関連 | 11 |
| その他 | 113 |
| 合 計 | 1,895 |

⑧ 福島県生活復興ボランティアセンターWEBサイト「はあとふる・ふくしま」への運営協力

福島県内のボランティアや生活支援相談員の活動等、復興に向けての動きを幅広く発信した。

⑨ 日本ボランティアコーディネーター協会（JVCA）の認知向上

全国ボランティアコーディネーター研究集会や研修会場においてJVCA紹介スライドを流した。

⑩ ボランティアコーディネーションについての普及啓発

・「ボランティアコーディネーター基本指針」ブックレットの販売促進及び主催研修や講師派遣先での普及啓発を行った。

・『ご存知ですか？ ボランティアコーディネーター』ポスターの配布

ボランティアコーディネーターの社会的な認知を高めるためのポスターを入会時に会員に配布し、活用を呼びかけた。ホームページにも掲載し、ダウンロードできるようにしている。

(5) 広報紙および出版物の発行

①ニュースレターの発行

『Co★Co★Net』の発行 年3回

・『Co★Co★Net』第41号 特集：ふくしまの今を知り これからを考える

4月25日発行 800部

・『Co★Co★Net』第42号 特集：どこもかしこも「コーディネーター」流行り

11月12日発行 800部

・『Co★Co★Net』第43号 特集：生活困窮者支援とボランティアコーディネーション

12月15日発行 950部

②ボランティアコーディネーションカ1級検定テキスト(加除式)の発行(受験者用)

改訂版 40部 6月4日発行 B5判 120頁

③ボランティアコーディネーションカ2級検定テキスト(加除式)の発行(受験者用)

改訂版 85部 7月14日発行 B5判 154頁

(6) 調査・研究活動の推進

①JVC A認定ボランティアコーディネーターシステムの開発

「認定ボランティアコーディネーターシステム研究会」を継続した。会議開催はなし。

| No | メンバー | 所属 |
|--------|-------|-------------------------|
| 1 | 筒井のり子 | 龍谷大学 |
| 2 | 妻鹿ふみ子 | 東海大学 |
| 3 | 杉澤 経子 | 東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター |
| 4(事務局) | 後藤麻理子 | 日本ボランティアコーディネーター協会 |

②「検定・認定システム化検討委員会」の継続

| No | 委員名 | 所属 | ◎委員長 | ○副委員長 |
|----|-------|-------------------------|------|-------|
| ◎1 | 筒井のり子 | 龍谷大学 | | |
| ○2 | 妻鹿ふみ子 | 東海大学 | | |
| 3 | 杉澤 経子 | 東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター | | |
| 4 | 小原 宗一 | 北区社会福祉協議会 | | |
| 5 | 早瀬 昇 | 大阪ボランティア協会 | | |
| 6 | 竹田 純子 | 龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター | | |
| 7 | 須藤美智子 | 環境パートナーシップ会議 | | |
| 8 | 栗木 梨衣 | 愛知県国際交流協会 | | |
| 9 | 赤澤 清孝 | ユースビジョン | | |
| 10 | 岩井 俊宗 | とちぎユースサポーターズネットワーク | | |
| 11 | 上田 英司 | NICE | | |
| 12 | 後藤麻理子 | 日本ボランティアコーディネーター協会 | | |

| 回 | 期 日 | 会 場 | 参加人数 |
|--------|---------------|----------------|------|
| 第 57 回 | 1 月 5 日 (日) | J V C A 事務所 | 10 人 |
| 第 58 回 | 2 月 2 日 (日) | J V C A 事務所 | 9 人 |
| 第 59 回 | 4 月 26 日 (土) | J V C A 事務所 | 8 人 |
| 第 60 回 | 10 月 26 日 (日) | J V C A 事務所 | 8 人 |
| 第 61 回 | 12 月 7 日 (日) | 龍谷大学 大阪梅田キャンパス | 5 人 |
| 第 62 回 | 12 月 13 日 (日) | J V C A 事務所 | 8 人 |
| 第 63 回 | 12 月 27 日 (土) | J V C A 事務所 | 9 人 |

③「検定・認定プロモーション委員会」の継続

任期を終了したため、委員を一部改選し再スタートを切った。検定システムの普及や、専門職としてのボランティアコーディネーターの社会的・組織的認知を向上させるための方策を検討した。

| No | 委員名 | 所 属 | ◎委員長 |
|-----|-------|-------------------------|------|
| ◎ 1 | 早瀬 昇 | 日本 N P O センター | |
| 2 | 永井 美佳 | 大阪ボランティア協会 | |
| 3 | 長谷部 治 | 神戸市中央区社会福祉協議会 | |
| 4 | 竹田 純子 | 龍谷大学ボランティア・N P O 活動センター | |
| 5 | 河合 将生 | office musubime | |

| 回 | 期 日 | 会 場 | 参加人数 |
|-------|---------------|-----------------|------|
| 第 7 回 | 9 月 8 日 (月) | ナレッジキャピタル (サロン) | 5 人 |
| 第 8 回 | 1 1 月 9 日 (日) | ナレッジキャピタル (サロン) | 6 人 |

④東日本大震災におけるボランティアコーディネーションについての検証

日本 N P O 学会と協力して、岩手・宮城・福島の大震災ボランティアセンターや N P O などにおけるボランティアコーディネーションについてのヒアリング調査のまとめを継続した。

⑤『ボランティアコーディネーター白書 2014 (2011-2013)』の編集

大阪ボランティア協会が発行する『ボランティアコーディネーター白書 2014』の編集に協力した。同誌は 2014 年 2 月 22 日に発行された。

(7) ボランティアコーディネーターの交流促進

① C o C o サロンの開催・運営支援

会員サービスの一環として、会員相互の交流を深める場（機会）として、会員が自主的に開催する C o C o サロンの新規立ち上げおよび運営支援については、各種委員会の再編に向けて、サロンのあり方そのものを検討し、交流気軽に開ける新たな開催スタイルに改善した。

新たな C o C o サロンは、親睦交流、情報交換を進める自発的な場づくりを目的にさだめ、会員 2 名の呼びかけにより開催できる場とし、開催へのハードルを下げた。

・C o C oサロンの開催状況

| 日程 | 地域/分野 | 会場 | 参加人数 | 主な内容 |
|---------------|---------------------|-----------------|------|---|
| 5月28日 (水) | 北九州 Link 福祉施設 | 生き方のデザイン 研究所 | 14人 | これまでのサロンをリニューアルして開催。 初回は特にテーマを設けず、気楽な雰囲気 のなか、名刺交換、自己紹介、近況 報告などを行った。今後は、2カ月に1 回程度のペースで行うことを決定した。 |
| 7月23日 (水) | 北九州 Link 福祉施設 | 生き方のデザイン 研究所 | 9人 | 食べながらしゃべる！自分の活動での悩 みやこれからやろうとしていることなど、まち づくりにつながるさまざまな話題を皆で熱く 語り合った。 |
| 9月24日 (水) | 北九州 Link 福祉施設 | 生き方のデザイン 研究所 | 10人 | 各々の活動の報告や紹介、所属団体で 開催するイベントの紹介をしたり、ボランテ ィアコーディネーション力検定3級を受験 するメンバーを激励した。 |
| 10月20日 (月) | 千葉 in 佐倉 | 庄や 京成佐倉駅前店 | 6人 | 加留部貴行運営委員をゲストに、市民 協働の話から博多弁講座まで、佐倉のメ ンバーとゲストの楽しい交流の場となった。 |
| 10月29日 (水) | かながわ | 魚鶴魚店 横浜鶴屋 | 12人 | 神奈川県内の会員を中心に開催を呼び かけ、当日は隣県、遠方からの参加もあ り、久々のにぎやかな交流と情報交換の 場となった。 |
| 11月16日 (日) | 東海 | インド料理 ムガルパレス | 18人 | 名古屋での運営委員会に合わせて開 催。運営委員会終了後、東海エリアのボ ランティアコーディネーターとJVCA運営 委員が交流会を行った。 |
| 11月18日 (火) | 庄内 | 宿泊研修施設 田田の宿 | 5人 | 後藤麻理子事務局長をゲストに、自分 自身の生い立ちなどを紹介しながら、後 半は「ボランティアコーディネーター基本指 針」をもとに話し合いを行った。 |
| 11月26日 (水) | 北九州 Link 福祉施設 | 生き方のデザイン 研究所 | 8人 | ボランティアコーディネーションは「夢をかな える」プロセスであることを確認し、世話人 の遠山ファシリによるハッピーシャワー体験 を通して参加者が元気になれるような交 流ができた。 |

②国内外の関係団体との連携

国内外の関係団体とボランティアコーディネーションの普及促進に関連する事業に後援ならびに協力し、連携を深めた。

・後援

- i) 第 50 回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会／第 13 回日本精神保健福祉士学会学術集会（公益社団法人日本精神保健福祉士協会）
- ii) ファンドレイジング・日本 2015（特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会）

・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加

幹事会への参加

全国ボランティアフェスティバルぎふ実行委員会への参加（広がれのメンバーとして）

全国ボランティアフェスティバルふくしま実行委員会への参加（ " " ）

・東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）への参加

・他団体が実施（主催）する委員会等への協力、参加（委員委嘱）

- i) 東京都中央区：中央区協働推進会議（地域振興課協働推進担当）
- ii) 東京ボランティア・市民活動センター：市民社会をつくるボランタリーフォーラム 2014
- iii) 全国社会福祉協議会：全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会
- iv) 日本NPOセンター：評議員
- v) 瑞穂町社会福祉協議会：ボランティア・市民活動センター運営委員会アドバイザー
- vi) 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 臨時委員
- vii) 福島県生活復興ボランティアセンターWEBサイト「はあとふるふくしま」運営への協力
- viii) キリン福祉財団：助成金選考委員
- ix) 日本NPOセンター：東日本大震災復興支援 JT NPO応援プロジェクト選考委員
- x) よこはま地域福祉研究センター：アドバイザーボードメンバー
- xi) チャリティホワイト新規プロジェクト：選出委員
- xii) 東京ボランティア・市民活動センター：中間支援組織スタッフの支援力アップ塾企画・評価委員
- xiii) 公益信託オラクル有志の会ボランティア基金：運営委員

■ 2 組織運営と財政強化

(1) 通常総会 2014年2月23日、栃木にて開催した。

・正会員数 356人

・定足数 178人

・出席者数 219人 内訳) 書面表決94人 委任95人 議場出席30人

[審議結果]

第1号議案(2013年度事業報告・決算案) 承認

第2号議案(第3期中期ビジョン2014-2018) 承認

第3号議案(2014年度事業計画・予算案) 承認

第4号議案(第8期役員体制) 承認

(2) 理事会

第8期 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事名簿

(2014年4月1日～2016年3月31日)

| No. | 氏名 | 所属先 | 地域 |
|-----|--------|------------------------------|-----|
| 1 | 阿部 陽一郎 | 社会福祉法人全国社会福祉協議会(中央共同募金会より出向) | 東京 |
| 2 | 井岡 仁志 | 社会福祉法人高島市社会福祉協議会 | 滋賀 |
| 3 | 鵜尾 雅隆 | 特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 | 東京 |
| 4 | 小原 宗一 | 社会福祉法人北区社会福祉協議会 | 東京 |
| 5 | 鹿住 貴之 | 認定特定非営利活動法人JUON(樹恩)NETWORK | 東京 |
| 6 | 唐木 理恵子 | 紬ワークス | 東京 |
| 7 | 鈴木 盈宏 | 認定特定非営利活動法人愛・地球博ボランティアセンター | 愛知 |
| 8 | 筒井 のり子 | 龍谷大学 | 滋賀 |
| 9 | 永井 美佳 | 社会福祉法人大阪ボランティア協会 | 大阪 |
| 10 | 長 沼 豊 | 学習院大学 | 東京 |
| 11 | 長谷部 治 | 社会福祉法人神戸市中央区社会福祉協議会 | 兵庫 |
| 12 | 濱屋 伸子 | 公益財団法人京都市国際交流協会 | 京都 |
| 13 | 早瀬 昇 | 認定非営利活動法人日本NPOセンター | 東京 |
| 14 | 疋田 恵子 | 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会 | 東京 |
| 15 | 妻鹿 ふみ子 | 東海大学 | 神奈川 |

理事会の開催（計画：4回）

| 回 | 日程 | 会場 | 出席 | 審議事項 |
|------|-----------------|-------------------|-----|---|
| 第46回 | 2月11日 (月・祝) | JVCA事務所 | 15人 | 第1号議案 2013年度事業報告・決算案 第2号議案 2014年度事業計画・予算案 第3号議案 第3期中期ビジョン 第4号議案 第8期役員体制 第5号議案 2014年度運営委員の募集と選考委員の選任 |
| 第47回 | 4月13日 (日) | 龍谷大学 大阪梅田キャンパス | 15人 | 第1号議案 正副代表理事の互選 第2号議案 処務規程ならびに運営委員会規程の改定 第3号議案 委員会の再編とスケジュール |
| 第48回 | 7月6日 (日) | 東京ボランティア・市民活動センター | 12人 | 第1号議案 2014年度上半期事業執行状況 第2号議案 検定・認定プロモーション委員会設置要綱案 |
| 第49回 | 12月23日 (火・祝) | 龍谷大学 大阪梅田キャンパス | 15人 | 第1号議案 2015年度 事業計画・暫定予算案 第2号議案 日本ボランティアコーディネーター協会ボランティアコーディネーション検定試験委員会要項の改正 第3号議案 2015年度 検定試験委員の選任 第4号議案 賛助会員（個人）会費の改定 |

(3) 監事監査の実施

2013年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日時 2014年 1月30日（木） 場所 JVCA事務所

監事

| No. | 氏名 | 所属 | |
|-----|-------|----------------|-----|
| 1 | 石川 到覚 | 大正大学 | 東京 |
| 2 | 早坂 毅 | 税理士・NPOコンサルタント | 神奈川 |

2014年度の監事体制は下記のとおり

第8期 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 監事名簿

| No. | 氏名 | 所属 | 地域 |
|-----|-------|-------------------------|----|
| 1 | 安藤 雄太 | 東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー | 東京 |
| 2 | 内野 恵美 | 内野公認会計士事務所 | 東京 |

(4) 委員会

3月19日(金)に2014年度運営委員選考委員会を開催した。この結果をもとに次期(4月～翌年3月)の運営委員メンバーを代表理事に諮問し、応募者全員が任命された。

4月の運営委員会において、運営委員長に上田英司、副運営委員長に三田響子、渡邊直樹を選任した。

①運営委員会の設置 (計画:月1回・12回)

2014年度運営委員体制(2014.4-2015.3)

| NO | 氏名 | 地域 | 所属 |
|----|--------|-----|-----------------------------|
| 1 | 斉藤 悦子 | 北海道 | 特定非営利活動法人日本病院ボランティア協会 |
| 2 | 栗原 穂子 | 山形 | 特定非営利活動法人ぼらんたす |
| 3 | 塩澤 達俊 | 栃木 | 社会福祉法人栃木 YMCA 福祉会 |
| 4 | 土崎 雄祐 | 栃木 | 宇都宮大学 |
| 5 | 鯉淵 百合子 | 千葉 | 社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会 |
| 6 | 足立 陽子 | 東京 | |
| 7 | 上田 英司 | 東京 | 特定非営利活動法人NICE |
| 8 | 唐木理恵子 | 東京 | 紬ワークス |
| 9 | 鹿住 貴之 | 東京 | 認定特定非営利活動法人JUON(樹恩)NETWORK |
| 10 | 熊谷 紀良 | 東京 | 東京ボランティア・市民活動センター |
| 11 | 後藤麻理子 | 東京 | 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 |
| 12 | 高宮城亜矢香 | 東京 | 社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会 |
| 13 | 疋田 恵子 | 東京 | 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会 |
| 14 | 三田 響子 | 神奈川 | 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 |
| 15 | 加藤 舞美 | 愛知 | 名古屋市市民活動推進センター |
| 16 | 田中 利昌 | 愛知 | 名古屋市市民活動推進センター |
| 17 | 山 方 元 | 愛知 | 愛知県立豊橋工業高等学校 |
| 18 | 渡邊 文人 | 愛知 | 愛・地球博ボランティアセンター |
| 19 | 野尻 紀恵 | 愛知 | 日本福祉大学 |
| 20 | 筒井のり子 | 滋賀 | 龍谷大学 |
| 21 | 西 誠 | 京都 | 佛教大学 |
| 22 | 早 瀬 昇 | 大阪 | 日本NPOセンター/大阪ボランティア協会 |
| 23 | 岡村こず恵 | 大阪 | 大阪ボランティア協会 |
| 24 | 渡邊 直樹 | 大阪 | 大阪府立大学ボランティアセンターV-station |
| 25 | 橋口 文博 | 兵庫 | 特定非営利活動法人じゅうしん神戸 |
| 26 | 垂井加寿恵 | 兵庫 | 神戸市西区社会福祉協議会 |
| 27 | 西村 こころ | 岡山 | 特定非営利活動法人岡山NPOセンター |
| 28 | 加留部貴行 | 福岡 | 九州大学 |

※所属は2014年12月末現在

・運営委員会の開催

| 回 | 日程 | 会場 | 出席 |
|------|------------|-------------------|-----|
| 第1回 | 1月18日(土) | 大野城市総合福祉センター | 11人 |
| 第2回 | 2月11日(祝・火) | 飯田橋レインボービル | 15人 |
| 第3回 | 3月30日(日) | カンボジア料理店すろまい | 16人 |
| 第4回 | 4月27日(日) | スター貸会議室四谷 | 17人 |
| 第5回 | 5月19日(日) | 龍谷大学大阪梅田キャンパス | 15人 |
| 第6回 | 6月22日(日) | 日本NPOセンター | 18人 |
| 第7回 | 7月27日(日) | 高槻森林観光センター(合宿) | 25人 |
| 第8回 | 8月23日(土) | 北とびあ | 15人 |
| 第9回 | 9月23日(日) | CANVAS 谷町 | 15人 |
| 第10回 | 10月19日(日) | 東京ボランティア・市民活動センター | 20人 |
| 第11回 | 11月16日(日) | 日本福祉大学 | 14人 |
| 第12回 | 12月13日(土) | プロミス渋谷お客様サービスプラザ | 9人 |

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を徹底し、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を推進した。

i) 広報普及委員会 …会員新規拡大、ホームページ充実、ボランティアコーディネーター基本指針の普及など、JVCAのPR活動全般

■メンバー：疋田恵子、熊谷紀良、橋口文博、渡邊文人、野尻紀恵、吉田真也、粟津剛史、岡村こず恵、渡邊直樹、山崎富一、中村彰利、小林政夫、小林郁義

ii) 会員サービス委員会 …CoCoサロンや、Co☆Co☆Net編集、会員メーリングリストの活性化など、会員継続支援や会員に向けた広報

■メンバー：倉本泰孝、垂井加寿恵、山方 元、岩浪武司、三田響子、阿南健太郎、足立陽子、公文真理亜、高宮城亜矢香、平田麻理、福本滋、池本真一、石川真由美、荒木澄美

なお、i) ii) の2つの委員会については、委員会タスクが過重になったこともあり、再編成することになり、再編案を作成する特命タスクを担うものとして、下記のプロジェクトチームを結成し検討を行った結果、いずれの委員会も8月をもって解散し、<WEB委員会>と<地域プロモーション委員会>が新設された。また、会員広報紙『Co☆Co☆Net』の編集については運営委員会において特集テーマを協議、決定し、各号ごとに協力メンバーを複数募る方法に変更した。また、常設コーナーの執筆者の人选にも会員の意見や協力をいただいている。

◆プロジェクトチームA：JVCAのステークホルダーを分析し、巻き込みとサポートレベルを整理する

メンバー：早瀬、疋田、足立、橋口

第1回 5月21日(水) 第2回 6月19日(木) ※skype会議

◆プロジェクトチーム B : コソサロンのあり方を考える (再構築)

メンバー : 加留部、山方、西村、加藤

第 1 回 6 月 14 日 (土)

iii) 研修開発委員会 …基礎研修等やファシリテーション講座等の調整、準備、実施、実務研修体系づくり

■メンバー:後藤麻理子、小原宗一、加留部貴行、斉藤悦子

| 回 | 日程 | 会場 |
|-------|---------------|-------------------|
| 第 1 回 | 4 月 16 日 (水) | J V C A 事務所 |
| 第 2 回 | 5 月 31 日 (土) | J V C A 事務所 |
| 第 3 回 | 9 月 9 日 (火) | J V C A 事務所 |
| 第 4 回 | 10 月 7 日 (火) | J V C A 事務所 |
| 第 5 回 | 10 月 21 日 (火) | TKP スター貸会議室東京駅八重洲 |

iv) J V C C 企画委員会 …全国ボランティアコーディネーター研究集会 2014 の企画、2015 実行委員会への参加、今後のあり方検討

■メンバー : 唐木理恵子、野尻紀恵、三田響子、妻鹿ふみ子、土崎雄祐、岡村こず恵

| 回 | 日程 | 会場 |
|-------|---------------|----------------|
| 第 1 回 | 6 月 15 日 (日) | J V C A 事務所 |
| 第 2 回 | 9 月 23 日 (日) | C A N V A S 谷町 |
| 第 3 回 | 1 2 月 9 日 (火) | J V C A 事務所 |

v) 財政委員会 …財政シミュレーションと具体的な財源強化対策、事業計画にもとづく予算作成 [JVCA おサイフ通信] の発行

■メンバー : 早瀬 昇、鹿住貴之、阿部陽一郎、鶴尾雅隆、奥田明夫 (～ 3 月まで)

| 回 | 日程 | 会場 |
|-------|---------------|-------------------|
| 第 1 回 | 1 月 17 日 (金) | J V C A 事務所 |
| 第 2 回 | 4 月 27 日 (日) | 東京ボランティア・市民活動センター |
| 第 3 回 | 6 月 22 日 (日) | 日本 N P O センター |
| 第 4 回 | 8 月 23 日 (土) | 北とぴあ |
| 第 5 回 | 10 月 19 日 (日) | 東京ボランティア・市民活動センター |
| 第 6 回 | 12 月 11 日 (木) | J V C A 事務所 |

<新設委員会> ※ 8 月より始動

i) W E B 委員会…JVCA 公式 facebook の開設と運営、WEB サイトのメンテナンス・改善

■メンバー : 西 誠、高宮城亜矢香、足立陽子、渡邊直樹、橋口文博

| 回 | 日程 | 会場 |
|-------|---------------|-----------------------|
| 第 1 回 | 9 月 17 日 (水) | J V C A 事務所 ※Skype 会議 |
| 第 2 回 | 10 月 17 日 (金) | J V C A 事務所 ※Skype 会議 |
| 第 3 回 | 12 月 10 日 (水) | J V C A 事務所 ※Skype 会議 |

- ii) 地域プロモーション委員会…全国からの会員獲得のための戦略的なアプローチ (①重点地域
アプローチ、②会員ゼロ県開拓、③他の事業とのリンク)

■メンバー：加留部貴行、山方 元、熊谷紀良、岡村こず恵、栗原穂子、足立陽子
委員会開催はなし

③プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図った。

i) 東日本大震災災害支援チーム

■メンバー：栗原穂子（福島事務局）、筒井のり子、井岡仁志、後藤麻理子（事務局）
・ボラサポ助成事業の推進

ii) 第3期中期ビジョン策定チームの設置・運営（～2月までで解散）

■メンバー：須藤美智子、小原宗一、上田英司、渡邊直樹、後藤麻理子（事務局）
・第3期中期ビジョン案の作成

<新設プロジェクトチーム> ※8月より始動

iii) CoCoサロン プロジェクトチーム

■メンバー：塩澤達俊、鯉淵百合子、山方 元、加藤舞美、西村こころ
・CoCoサロン設置要項の改定

iv) 検定合格者向けプロジェクトチーム

■メンバー：疋田恵子、三田響子、田中利昌、垂井加寿恵
・2級合格者向けメールマガジンの発信
・3級合格者向けメールマガジンの発信

vi) 『Co☆Co☆Net』特集企画・編集チーム（号ごとに募集）

(5) 会員拡大および会員サービスの充実

①会員拡大に関する取り組み

JVCC2014 とちぎの会場において会員拡大の働きかけを行った。

オンライン決済や顧客データベースの一本化について、システム導入準備を行った。

2014年度末 会員数

| | |
|----------|-----|
| 会員総数 | 465 |
| 正会員 | 377 |
| 準会員 | 41 |
| 賛助会員（個人） | 38 |
| 賛助会員（団体） | 9 |

(6) 事務局体制

4月以降事務局を縮小し、非常勤1人減の下記の体制をとった。

常勤正規職員1人、常勤嘱託職員1人、非常勤職員2人（うち1人は福島事務局）

(7) 財源の確保と財政運営

財政委員会では、JVCA の財政状況を会員に伝え、ともにファンドレイジングの取り組みに参加いただくために『JVCA おサイフ通信』を作成し、9 月と 12 月の 2 回会員メーリングリストに発信した。

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援 P）協力団体応援資金による支援事業を終了し、事業および決算の報告を行った。その結果、決定額通りの助成が認められ、残額を請求し収入した。

福島支援活動（浪江町社会福祉協議会への支援）を継続するための助成金を中央共同募金会（ボラサポ）に申請し、採択された。

申請額 194 万円 採択額 182 万円

JVCC2015（大阪）の開催経費を「福祉医療機構（WAM）」に申請し採択された。

（入金は 2015 年度）

(8) 認定 NPO 法人格取得申請

11 月 28 日（木）に東京都へ事前相談に赴き助言を受けたうえで、12 月 5 日付で申請を行った。審査の結果、7 月 3 日付で認証が決定した。

< 寄付者一覧 >

| | | | | |
|--------|--------|------------|--------|-------|
| 赤石 千秋 | 赤澤 清孝 | 足立 貴義 | 穴見 千佳 | 阿南健太郎 |
| 阿部陽一郎 | 栗津 剛史 | 安藤 芳樹 | 飯塚 和幸 | 井岡 仁志 |
| 石川 千種 | 市瀬 明美 | 今田 千秋 | 岩井 俊宗 | 岩浪 武司 |
| 江森謙太郎 | 岡本 榮一 | 岡村 こず恵 | 岡村 公一 | 小原 宗一 |
| 鹿住 貴之 | 鹿住 泰久 | 鎌北 郁子 | 唐木理恵子 | 加留部貴行 |
| 川田 広子 | 川原百合子 | 菊池 浩史 | 木村 仁志 | 熊谷 紀良 |
| 熊澤 桂子 | 公文真理亜 | 倉本 しのぶ | 栗原 さゆり | 栗原 穂子 |
| 後藤麻理子 | 小西 潤 | 小森眞美子 | 小山 順一 | 杉本 学士 |
| 鈴木 陽子 | 関 好博 | 竹田 純子 | 垂井加寿恵 | 土崎 雄祐 |
| 筒井 早苗 | 筒井 のり子 | 中野伊津子 | 中村 有里 | 永井 美佳 |
| 縄田三千代 | 西野 文子 | 西 誠 | 丹羽 史泰 | 橋口 文博 |
| 橋詰 勝代 | 早瀬 智啓 | 早瀬 昇 | 東牧 陽子 | 疋田 恵子 |
| 平野 幸子 | 福本 滋 | 古澤 千歳 | 松浦 亮輔 | 松本 浩子 |
| 三田 響子 | 満田 寛子 | 南 多恵子 | 宮崎 敏子 | 村上 直美 |
| 妻鹿 ふみ子 | 森坂 尚子 | 山方 元 | 山崎 明美 | 山崎 富一 |
| 山地 晴義 | 渡邊 文人 | ほか匿名希望 5 人 | | |

寄付者 合計 82 人 （うち PST にカウントされる寄付 74 件）